

視察等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 岡田美津子

下記のとおり、視察が終了したので報告します。

|         | 会派代表者   | 経理責任者 |
|---------|---|-------|
| 視 察 議 員 | 公明党・岡田美津子   |       |
| 期 間     | 令和 2 年 1 月 22 日（水）～令和 2 年 1 月 24 日（金）   |       |
| 視 察 先   | 東京衆議院会館・参議院会館   |       |
| 視 察 用 務 | 1 令和元年 特別交付税の陳情活動（24 日）<br>2 全世代型社会保障改革についての勉強会（22 日）<br>3 GIGA スクール構想の実現についての勉強会（23 日）<br>4 近年の水害と今後の水災害対策について（23 日）   |       |
|         | 1 <u>令和元年度 特別交付税の陳情活動（国会議員 6 名）</u><br>衆議院議員…齊藤鉄夫・小島敏文・岸田文雄・佐藤浩治氏に手渡す<br>参議院議員… 宮沢洋一・柳田稔・森本慎治氏に手渡す<br><br>2 <u>全世代型社会保障改革についての勉強会（衆議院第一会館内にて）</u><br>○対応者…内閣府参事官補佐 土岐祥蔵 様<br><br>今、日本は人生 100 年時代を迎え、ライフスタイルが多様となる中で、お年寄りだけではなく、子供たち、子育て世代、さらには現役世代まで広く安心を支えていくため、「働き方の変化」を中心に据えながら、年金、医療、介護全般にわたって改革が必要な時期にきている。<br>全世代型社会保障改革については令和元年 9 月に第一回会議を開き、これまで 5 回会議を開催されている。12 月に中間報告を取りまとめ、令和 2 年夏に最終報告を取りまとめられる予定である。<br>今回の勉強会は、12 月に取りまとめられた中間報告について説明を受け勉強させて頂いた。<br>年金…（1）受給開始時期の選択肢の拡大<br>（2）厚生年金（被用者保険）の適用範囲の拡大 |       |

(3) 在職老齢年金制度の見直し

労働… (1) 70歳までの就業機会の確保

(2) 中途採用・経験者採用の促進

(3) 兼業・副業の拡大、フリーランスなど雇用によらない働き方の保護の在り方

医療… (1) 医療提供体制の改革

(2) 後期高齢者の自己負担割合の在り方

(3) 大病院への患者集中を防ぎかかりつけ医機能の強化を図るための定額負担の拡大

などが主な改定の柱だが、私たち議員からも今後の課題・不安など多くの質問が出た。

3 GIGA スクール構想の実現

○対応者…文部科学省 初等中等教育局 情報教育・外国語教育課  
課長補佐 齋藤幸義 様

IOT・ビッグデータ・人工知能などを活用した便利な社会が（ソサエティ 5.0）が到来しようとしている。その様な社会状況の中、学校教育もこの変化に対応できるものでなくてはならないと考え、この変化を前向きに捉え、主体的に向き合い・関わり合い、自らの可能性を発揮し、より良い社会と幸福な人生の創り手となるための力を子どもたちに育む学校教育の実現を目指して行われようとしている「GIGA スクール構想」

今の学校における現状や「GIGA スクール構想」の全体像、ハード整備、実現パッケージ、又今後に向けた取り組みなど勉強させていただいた。

児童生徒に一人一台のコンピューターは先を見据えての社会においては必要不可欠な事だと思う。環境整備や教員の育成（指導体制）特別支援学級などでのデジタル教科書の充実、又、デメリットともなりえる事にも目を向けて時代の変化に対応した教育に期待している。

4 大水害時の河川対策

○対応者 国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課  
企画専門官 榊井正将 様

近年全国で多発する自然災害。国土交通省の榊井様に近年の自然災害の発生状況、特に昨年10月に発生した「台風10号」による大水害の状況や対応、今後の課題や取り組みをお伺いした。

気候変動のスピードに対応した「事前防災対策の加速化」は重要で、将来の気候変動はほぼ確実とされており、それに対応した事前防災は喫緊の課題との事。

|  |   |
|--|---|
|  | <p>人口減少・超高齢化に対応する災害対策も重要だと。<br/>国は令和2年度においても治水事業等の予算が1兆638億組まれている。<br/>三次市においても平成30年の7月豪雨を経験し、改めて引き続き様々な想定外を念頭に置いての取り組みが必要と思った。</p> |
|  |   |

## 視察等報告(復命)書

三次市議会議長 様

報告者氏名 黒木靖治

下記のとおり、視察が終了したので報告します。

|         | 会派代表者  |  | 経理責任者 |  |
|---------|--|--|-------|--|
| 視察議員    | 黒木靖治   |  |       |  |
| 期 間     | 令和2年1月22日(水)～令和2年1月24日(金)  |  |       |  |
| 視 察 先   | ・衆議院第一議員会館 ・参議院議員会館 (東京都新宿区赤坂)   |  |       |  |
| 視 察 用 務 | ・議員研修「全世代型の社会保障改革」:総務省<br>・議員研修「GIGAスクール構想」:文科省 ・「大水害時の河川対策」:国交省<br>・特別交付税陳情   |  |       |  |
| 視察先対応者  | 内閣参事官補佐・文科省・国土交通省の担当者 ・広島県選出の国会議員  |  |       |  |
| 概要及び所見  | ○ 1月22日(水)14:00～15:30  |  |       |  |
|         | 【研修内容】「全世代型の社会保障改革」 内閣参事官補佐 :土岐祥蔵氏   |  |       |  |
|         | 人生100年時代を迎え、ライフスタイルが多様となる中で、年寄りだけでなく、子どもたち、子育て世代、現役世代まで広く安心を支えていくため、働き方の変化を中心に据えながら、少しでも多くの方に「支える側」ではなく「支える側」として活躍していただくことで、「支える側」と「支えられる側」のバランスを見直し、現役世代の負担上昇を抑えながら、すべての世代が安心できる社会保障制度を検討する時期にきている。 |  |       |  |
|         | 全世代型社会保障検討会議で、令和元年9月20日に第1回会議を開催、これまで5回会議を開催し、12月に中間報告を取りまとめ、令和2年夏に最終報告をとりまとめる予定である。   |  |       |  |
|         | 今回の勉強会は、12月にとりまとめられた中間報告について説明を受け  |  |       |  |

|        |   |
|--------|---|
|        | ての勉強会。                                      |
|        | 年金 (1)受給開始時期の選択肢の拡大。                        |
|        | (2)厚生年金(被用者保険)の適用範囲の拡大。                     |
|        | (3)在宅老齢年金制度の見直し。                            |
|        | 労働 (1)70歳までの就業機会の確保。                        |
|        | (2)中途採用・経験者採用の促進。                           |
|        | (3)兼業・副業の拡大、フリーランスなど雇用によらない働き方の保護のあり方。      |
|        | 医療 (1)医療提供体制の改革。                            |
|        | (2)後期高齢者の自己負担割合あり方。                         |
|        | (3)大病院への患者集中を防ぎかかりつけ医機能の強化を図るための定額負担の割合。    |
|        | 上記の主な改定の柱であるが、参加した議員から今後の課題や不安など多くの質問がでました。 |
|        |   |
|        | ○ 1月23日(木)10:00~11:30                       |
|        | ・議員研修「GIGAスクール構想」文部科学省：齋藤幸義氏                |
|        | ICT・AIなどを活用した便利な社会が来ようとしている中で、ソサイティ5.0      |
|        | 時代を生きる子どもたちにとって、教育におけるICTを基盤とした先端技術等の       |
|        | 効果的な活用が求められる一方で、現在の学校ICT環境の整備は遅れており         |
|        | 自治体間の格差も大きい。                                |
|        | このため、1人1台端末及び高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備する        |
|        | とともに、平行してクラウド活用推進、ICTの機器の調達体制の構築、利活用優良      |
|        | 事例の普及、利活用のPDCAサイクル徹底等を進めることで、多様な子どもたち       |
| 概要及び所見 | を誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを全国の学校現場         |
|        | で持続的に実現するとうい「GIGAスクール構想」の概要や今後に向けた取り組み      |
|        | などを勉強しました。                                  |
|        | 児童・生徒に対してICTやAIなどを活用した取り組みは必要不可欠だと思いま       |
|        | すが、それにとってもICTやAIだけに頼るだけでなく、自分の頭で考えることも      |
|        | 大切であるという教育も平行して実施していく事が大事だと思います。            |
|        |   |

○ 1月23日(木) 13:30~15:00

「大規模水害の河川対策について」 国土交通省 :企画専門官 榊井正将氏

○近年の水害と今後の水災害対策について

近年の自然災害の発生状況で、特に昨年10月に発生した「台風10号」による大水害の状況や対応、今後の課題や取り組みについて説明を受けた。

気象変動のスピードに対応した「事前防災対策の加速化」は重要であり、将来の気象変動はほぼ確実とされており、それに対応した事前防災は喫緊の課題となっている。

また、人口減少・高齢化に対応する災害対策も重要になっている。

国において治水事業等の令和2年度の予算が1兆638億円計上されている。

三次市においても平成30年7月豪雨を経験していて、災害はいつ・どこで発生してもおかしくないということを常日頃から頭においての取り組みが重要だと思います。

1月24日(金) 8:30~12:00

○令和元年度 特別交付税の陳情活動

・衆議院議員 ( 斉藤鉄夫 ・小島敏文 ・岸田文雄 ・佐藤浩治氏 )

・参議院議員 ( 宮沢洋一 ・柳田 稔 ・森本慎治氏 )

上記の議員に特別交付税の要望書を手渡ししました。